

9. 高知県室戸市 申請資料抜粋

地域のプロジェクト名	ぬいぐるみで室戸を元気に！？「MUROTOくじらリー」
申請者(地方自治体名・団体・企業名など)	室戸市
1. ご当地・施設の特徴	<p>四国は四角、四角の右下角っこの高知県室戸市は四国で唯一「室戸ユネスコ世界ジオパーク」に認定された場所で、古代からの豊かな自然がダイナミックに感じられます。室戸岬の突端に立つと青い海に赤いハイビスカス、日本一のレンズを誇る灯台を望むことができ、パースポートなしで海外へ来た気分を味わえるのが自慢です。</p> <p>また、基幹産業は漁業と林業であり、定置網漁業が盛んです。西日本一の漁獲量を誇る室戸産キンメ鯛は漁場が近く、日戻りで鮮度がいいのが特徴です。新鮮！絶品！の室戸のご当地グルメである「室戸キンメ丼」はこれを食べるために県外からわざわざ来る人がいるほど大人気です。室戸キンメ丼には定義があり、室戸沖でとれた金目鯛を使うこと、ご飯に室戸産金目鯛の照り焼きと地場の刺身をのせつこと、独自の金目鯛のダシをつけること、具材は高知県産にこだわるの条件を満たしたものが「室戸キンメ丼」といわれており、現在では市内8カ所のお店で提供しています。</p>
2. 地方創生に結び付く活動目標・目的などについて	<p>室戸ユネスコ世界ジオパークでは持続可能なまちづくりの実現のため「国際貢献ができるまち、夢を持って働けるまち、人と自然に優しいまち、市民が誇りをもてるまちに」を目標として、地震防災教育や室戸岬ガイドなどの体験学習、100年後もいまの室戸のままで存在するための保全活動・研究・調査を実施している。</p> <p>昨年は、新型コロナウイルスの影響をうけ、市内観光施設の来訪者・売上が大きく減少している中、室戸で秘かなブームとなっている「ぬいぐるみくじ」を活用した「スタンプラリー」を実施することで、周遊促進による滞在時間の延長・スタンプラリー参加施設の売り上げ増加を目的として実施した</p>
3. 地方創生に結びつく活動内容・実績などについて(実施方法)	<p>近年では「教育旅行」が注目を集めており、新型コロナウイルスの影響を受け都心部への修学旅行が厳しくなったことから、室戸での修学旅行の受け入れが増加している。プランとしては「日本で唯一の津波避難シェルターの見学」や「マリンレジャー体験など」他では体験できないここ(室戸)だけの体験が注目を集めている。</p> <p>市内4つの観光施設を巡りくじを引くスタンプラリー「MUROTOくじらリー」では、スタンプラリーと合わせてSNSキャンペーンやノベルティのプレゼント企画を実施したことで老夫婦やカップル、お遍路さんなど幅広い年代の方に参加してもらえることができた。</p>

7. 成果・注目ポイント(写真と説明文)



教育旅行

室戸世界ジオパークセンター見学では館内ガイドと展示を見ながら、日本の室戸を例に、人と自然との関わりについて学ぶことができる。



津波避難シェルター見学

日本で唯一の津波避難シェルターの見学を通して、南海トラフに面した室戸市で進められている防災の取り組みを知り、自然災害との向き合い方について学ぶ。

写真



MUROTOくじらリーのぬいぐるみオリジナルぬいぐるみのため「ここ」でしか手に入らない魅力がある。



MUROTOくじらリー目玉の景品参加者のなかから抽選で当たる景品のひとつの150センチを超えるくじらぬいぐるみ。SNSでは「こんな大きなぬいぐるみはみたことない」「これを手に入れるためにくじを20回引いた」など好評だった。